

未破裂脳動脈瘤クリッピングを受けられる 様へ

脳動脈瘤は破裂するとくも膜下出血を来します。動脈瘤への血液の流入をクリップをかけることにより途絶し、くも膜下出血の発生を予防します。手術は全身麻酔で行います。

福井赤十字病院 脳神経外科

目 標	手術2日前	手術前日	手術当日 (/)		手術後1日目	手術後2日~6日目	手術後7日~10日目	手術後11日目
	/	/	術前	術後	/	/ ~ /	/	/
目 標	・安全に手術ができるように準備します				・術後、傷の状態やCTに異常がなければ、退院できます			
検 査		★全身麻酔で治療を受けられる方は、麻酔科医の診察があります。できれば家族の方も同席をお願いします(ただし、休日の場合は別の日に診察します)			・早朝、看護師が採血します ・午前中に造影CT、レントゲン写真を撮りに行きます		・7日目に採血、CTの検査をします ・CTに異常がなければ傷の状態をみて退院になります	・医師の許可があれば退院できます
治 療 処 置		・手術に必要な範囲の頭の毛を剃ります	・血栓予防のため、手術前に弾性ストッキングをはきます	・翌朝まで点滴をします ・翌朝まで酸素吸入をします ・頭に管が入ってくる場合があります(抜けないように気をつけてください) ・手術中に尿の管が入ります	・朝夕に抗生剤の点滴があります ・CTの結果で頭の管を抜きます ・尿の管を抜きます ・歩行ができれば弾性ストッキングは脱ぎます	・2、3日目は食事の量をみて点滴を追加していきます	・7日目に傷を見て抜鉤をします	
安 静 度	・制限はありません			・ベッド上で寝たまま安静です(座れませんが横を向いたり出来ます)	・CTの結果、問題がなければ歩けます	・制限はありません		
食 事		・麻酔科医師から食事と水分の制限があります 食事()まで出来ます 飲水()まで出来ます			・お昼より全粥軟菜の食事ができます	・普通食が出来ます(医師の指示により治療食となる場合があります) 		
排 泄			・時間になったら排尿をすませてお待ちください	・尿は管から自然に出ています ・便がしたい時は知らせてください	・CTの結果、問題がなければトイレまで行けます	・トイレで排泄できます(制限はありません)		
清 潔		・毛を剃った後に入浴して頂きます			・身体を拭きます	・術後2日目に傷の状態をみて洗髪します ・医師の許可があれば入浴(シャワー)ができます 入浴(シャワー)ができない方は身体を拭きます 		
観 察	・入院までの経過をお聞きします(入院の状態を観察します)			・手術直後、30分後、1時間後、2時間後、以後2時間毎に経過を観察します	・4回行います	・2、3日目は3回、4日目から1回行います	・1回行います	
そ の 他	・医師より手術についての説明があります ・看護師より手術の準備についての説明があります ・手術・輸血承諾書、入院診療計画書等をお出しいただきます ・薬剤師より入院中のお薬について説明があります		・身につけているものは全て外してください <input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> 眼鏡 <input type="checkbox"/> コンタクトレンズ <input type="checkbox"/> 指輪 <input type="checkbox"/> ヘアピン <input type="checkbox"/> ネックレス <input type="checkbox"/> かつら <input type="checkbox"/> 貼り薬	・主治医より手術後に、経過や結果について説明があります 				・退院療養計画書をお渡ししますので、署名の上お出しください ・この用紙の裏面を用いて退院後の生活について看護師が説明します ・次回受診日は 月 日です
説 明 者								

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医 () 担当看護師 ()

入院負担割合	3割	70歳以上(1割)	70歳以上(2割)	70歳以上(3割)
負担額	約70~90万円	約80,000円	約80,000円	約30万円

*入院費は概算ですので診療内容・病状等により異なる場合があります。

2022.4.18☆

クリッピング術を受けられた患者様へ

退院おめでとうございます。これから退院後の生活の注意点について説明させていただきますので参考になさってください。以下の内容で不明な点は、医師、看護師、薬剤師などにご遠慮なくお尋ねください。

1、病気について

脳動脈瘤の成因については不明ですが、動脈の分岐部に、動脈硬化や高血圧の影響が加わって発生すると考えられています。再発予防のためにはこれらの危険因子を継続してコントロールしていくことが重要です。

2、血圧のコントロールについて

- ・自分の普段の血圧を知っておきましょう。降圧剤を内服されている方は家でも血圧を測定されることをお勧めします。
- ・本院でも高血圧教室を開催しておりますのでお気軽にご参加ください。
(月1回、第3水曜日13時30分～14時15分)
- ・不規則な生活やストレス、バランスの悪い食事なども血圧に影響を及ぼすことがあります。規則正しい生活を心掛けましょう。
- ・適度な飲酒はストレス解消になりますが、飲酒は慢性的に血圧をあげてしまいます。また、過度の飲酒はくも膜下出血の原因になるので避けましょう。

ビールなら中びん 1本 (500ml)
日本酒なら 1合 (180ml)
ウイスキーなら シングル2杯かダブル1杯
ワインなら グラス2杯 (240ml)

★週に2日は飲まない休肝日をもうけましょう★

3、内服について

- ・処方されたお薬は指示通りにきちんと飲みましょう。お薬の飲み方を変えてしまうと効き目が十分でないこともあります。
- ・薬剤師から飲んでいるお薬について説明があります。

4、日常生活について

- ・食事は腹八分目にして、食べ過ぎないようにしましょう。
- ・塩分の取りすぎは、血圧を高くするので、かわりにだしや柑橘類・香辛料などで味付けの工夫をして、塩分を控えましょう。
- ・動物性脂肪の取りすぎは、血液中のコレステロールを増やし、動脈硬化を進めるので控えめにしましょう。

動物性脂肪とは...

バター、チーズ、ラード、卵など

- ・便秘は避けましょう。トイレでいきみすぎると血圧が高くなります。水分を十分にとり、食物繊維も多くとりましょう。
- ・禁煙に努めましょう。タバコは血管を収縮させ、脳動脈瘤の破裂の再発の可能性が高まります。
- ・適度な運動を心掛けましょう。適度な運動は高血圧予防になります。体力にあった運動（ウォーキングやサイクリング、ハイキングなど）を続けましょう。
- ・気圧の変化に注意しましょう。飛行機の客室の気圧は調整されていますが、離陸の際に感じる耳の異常感などは気圧が変化しているからです。飛行機の搭乗やダイビングなどは手術後6ヶ月間、控えましょう。

5、その他

- ・手術で使用したクリップは非磁性体合金製でMRIの検査などで問題ありませんが、必要時には病院にその旨を伝えてください。

